

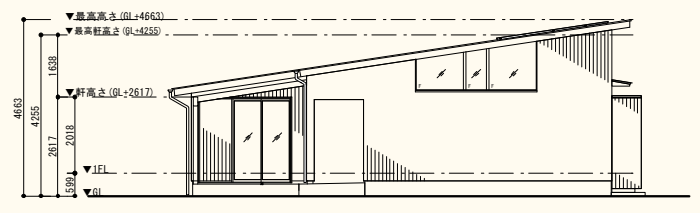
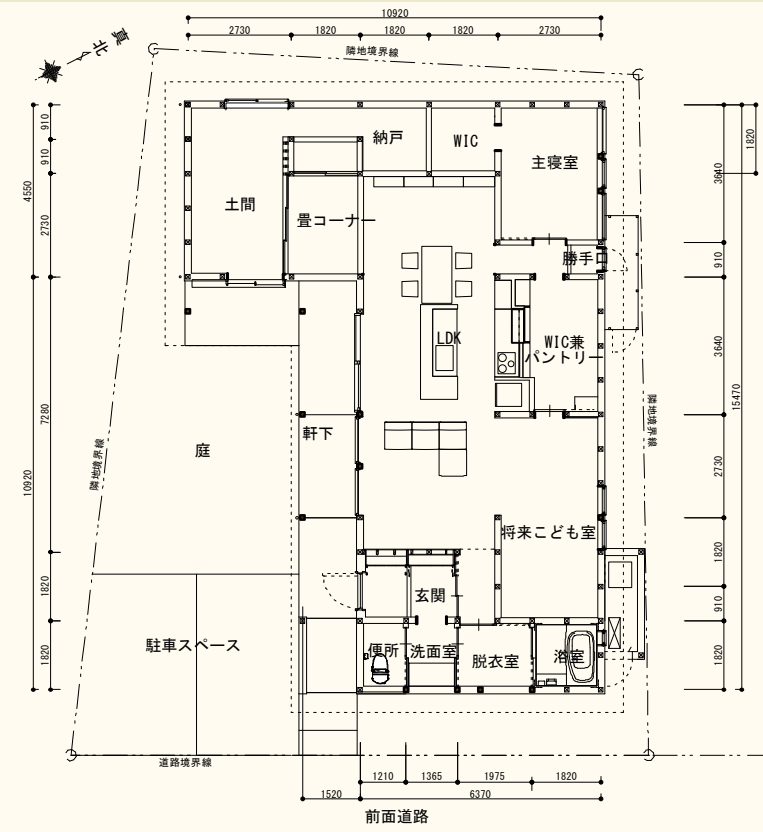
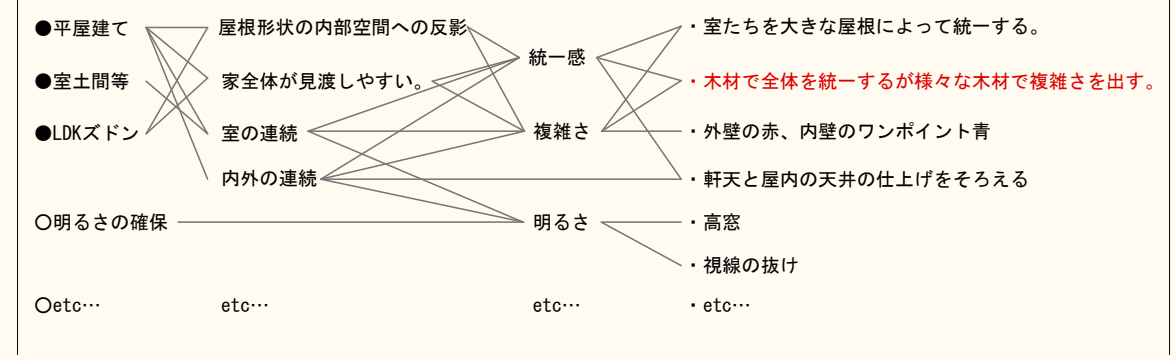
1). スギ板に赤の木材保護塗料塗り。近隣には庭木が多く緑と外壁の赤色が補色の関係でお互い 2). 正面にスギ板張りの壁とシナ合板が表面材の収納扉。 3). 東側に大きなハイサイドライトを設け明るい水廻りとしている。欄間を通して採光をリビングに運ぶ。木建表面材はシナ合板(共通)洗面カウンターはタモ集成材。 4). LDK+将来子ども室は広く天井も高い。大きな窓は北側のため1日を通して安定した明るさを確保出来る。右手の壁はスギ板張り。キッチン目隠しの天板はタモ集成材腰はスギ板張り。

# 小新の平屋の家

西区小新の平屋建ての住宅。家族構成は夫婦と子ども2人。施主からの最初の要望は平屋建てであること、趣味のための土間が欲しい、畳のある部屋が欲しい、LDKがズドンとある、水廻りは玄関から近い位置、そして外壁は木で赤く塗装して欲しいでした。外壁に木を使う事に施主は並々ならぬ思いがあり、数年に一度自分で塗装もするし、経年変化も一

つの表情として楽しみたいとおっしゃいました。設計者としてもその思いに応えたいと考え、素材の中心に木を多様することは施主のこの考えからでした。それと他の要望を合わせながら下記のフローで検討したなかで「**木材で全体を統一するが様々な木材で複雑さを出す**」案を検討しました。天井においては梁の赤松集成材とラージ合板に統一感を出すために着色をし、他の木材は施主と相談しながら着色かクリアかを決めていきました。

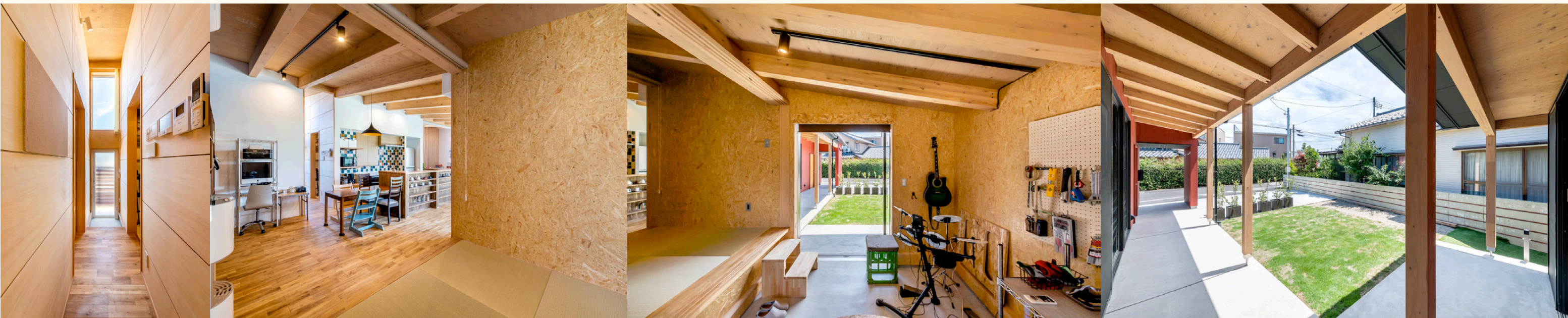
## □要望等から具体案への検討フロー



東側立面図

## □仕上げとして使用した主な木材

- 天井・野地板あらわし\_ラージ合板
- 家具・天板・カウンター\_タモ集成材
- 梁あらわし\_赤松集成材
- 腰\_スギ縁甲板タテ張り
- 壁\_スギ縁甲板タテ張り
- 扉\_シナ合板フラッシュ
- 壁\_シナ合板目透かし張り
- 木建\_シナ合板フラッシュ
- OSB合板突付け張り
- 柱あらわし\_スギ集成材
- 床\_ナラ材
- 軒天・野地板あらわし\_ラージ合板
- 梁あらわし\_赤松集成材
- 外壁\_スギ縁甲板タテ張り



5). 勝手口への廊下。北側の窓は安定して明るい。壁はシナ合板張り。 6). 壁のスギ板、シナ合板、OSB合板、天井のラージ合板、梁の赤松集成材及び床のナラと使用されているほぼ全ての木材が見える 7). OSB合板に囲まれた土間スペースは施主の趣味スペース。畳みコーナーの壁の一部は同じOSB合板で統一している。 8). 軒下空間と庭。軒天は内部天井と同じラージ合板となっており、内外に一体感を出している。